

学校名 鴻巣市立鴻巣中学校

所在地 鴻巣市東2-4-62

電話 048-541-0272

1 本校の概要

本校は生徒数591名、全校18クラス（内特別支援2）、今年度開校70年目を迎えた地域に誇る文武両道の伝統校である。学校教育目標は「たくましく たのしい 鴻巣生徒」で、生徒達は校訓の「自主・共生・感動」を学校生活に生かし、目標を3つもって授業や部活動・学校行事に全力で取り組んでいる。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・学校図書館等の環境整備の工夫

(2) 実践の概要

継続的な朝読書、学校司書（学校図書館支援員）によるオリエンテーション・読み聞かせ等の活動に加え、展示コーナーの設置を含めた環境整備により、読書推進活動を行っている。

ア 朝読書の習慣化

本校では毎朝10分間、朝読書の時間を設けている。この時間には図書委員が中心となり、予定時間に着席し、読書を始められるよう促している。

また、朝読書の時間を利用し、学校図書館支援員による各クラスでのオリエンテーションや読み聞かせも行っている。オリエンテーションでは学校図書館の利用方法についての説明を、読み聞かせでは学校図書館の所蔵図書を紹介している。

イ 長期休業前貸出

夏季休業や冬季休業の前には、休業中も読書に親しむことができるよう、特別な貸出期間・冊数を設け貸出している。

ウ 展示コーナーの設置

書架の空いたスペースを利用し、季節に合わせたテーマ展示を行っている。展示する図書は物語に限定せず、テーマに関連した自然科学や料理等、幅広い分野の本を展示するよう心掛けている。

また、表紙が見えるように本を並べられる書架を利用し、ランキングコーナーを設置している。月が替わるごとに貸出回数を集計し、回数の多か

った本を展示している。



エ しおりのプレゼント

貸出カウンターに設置しているしおり入れの中に、手製のしおりを数枚入れている。気に入ったしおりを見つけた生徒は持ち帰ることができる。しおりは、不定期に新しいものが追加される。



オ 各クラス「図書館の日」の設置

図書委員が自分の当番の日を中心に、クラスの生徒を学校図書館に案内する日を週2日程設けている。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 読書の時間を継続的に設けることにより、読書の習慣化に繋がっている。また、紹介した本を借りる生徒の姿が見られるようになった。

イ 長期休業前に貸出可能冊数が増えるため、普段利用しない生徒も学校図書館を訪れるようになった。

ウ 本の表紙を見せて並べることで、生徒の興味が高まり、読書の幅が広がっている。

エ 時折、新しいしおりを確認するため、学校図書館を訪れる生徒が見られる。学校図書館利用のきっかけになっている。

(2) 課題

委員会活動等を活発にすることにより、更に学校図書館を活性化し、より多くの生徒が利用できるようにしていくことが課題である。

(3) おわりに

図書日より等も活用し、生徒が学校図書館に興味をもつよう活動を進めている。学校図書館で多くの本に触れ、生徒自身が読書への興味をもち、読書の幅を広げられる活動を行っていききたい。